トピックス ～町の話題～

ランドセルカバー贈呈式

３月 25 日(金)、小山地区交通安全協会様から新入学児童の交通安全を願って、ランドセルカバーが町へ贈呈されました。

保護者の方はお子様に家庭で交通安全の指導を、ドライバーの方は安全運転を心がけ、地域全体で子どもを交通事故から守りましょう。

平成２７年度野木町消費生活講演会が開催されました。

２月 26 日(金)に、野木町社会福祉協議会（ホープ館）において、ファイナンシャル・プランナーＡＦＰ　仲山博史氏を講師に迎え、野木町消費生活講演会を開催いたしました。

「マイナンバー制度がスタートしました」と題し、今年の１月から始まったマイナンバー制度について、どのような制度か、どのような時に必要になるのかをお話いただき、参加者の皆さんからも積極的にご質問いただくなど、盛況な講演会となりました。

ご寄付をいただきました

日東工業株式会社様より現金 300 万円のご寄付をいただきました。

３月 24 日(木)、日東工業株式会社の松下隆行専務取締役、箕浦浩野木工場長、同工場須田隆幸総務課長が来庁され、町長に目録が手渡されました。自治振興および教育関連の事業に有効活用させていただきます。

ＪＡおやまから図書カードとランチョンマットの寄付がありました

ＪＡおやまから「小学校で役立ててください」と図書カード 98,000 円分と小学校新入生に給食時に使用するランチョンマットの寄付がありました。

教育委員会では、各校に図書カードを配布して、「読書のまち宣言」を更に盛り上げられるよう配慮しました。

ＪＡ直売所では、購入者から任意に小学校ごとの箱にレシートを投函されたものを集計し、その売り上げの一部を図書カードにして寄付されています。

また、ランチョンマットは、栃木産農畜産物をたくさん食べて健やかに成長してほしいという願いから、新入生に寄付されました。

図書カードの寄付は今年９回目、ランチョンマットは今年２回目の寄付です。大変ありがとうございました。

トピックス ～町の話題～

野木町協働のまちづくり支援事業

ラジオ体操愛好会がラジオ体操を披露しました

健康づくりの取組みのひとつとして、広く知られているラジオ体操の普及・指導を行っている「野木町みんなのラジオ体操愛好会」は、3月13日(日)に開催された『のぎの楽市「えんにち」の「仮装ウォーキング」』の出発前において、参加者と一緒にラジオ体操を行いました。

当日は真冬のような寒さでしたが、ラジオ体操第一と第二で体を動かし、気軽にできる健康づくりの一つとして、ラジオ体操の魅力をアピールしていました。

ご寄付をいただきました

旭鋼管工業株式会社様より現金100万円のご寄付をいただきました。

3月18日(金)、旭鋼管工業株式会社の関口実総務経理部長が来庁され、町長に目録が手渡されました。貴社の創立50周年を記念しての寄附になります。自治振興および福祉事業に有効活用させていただきます。

第4回のぎの楽市「えんにち」が開催されました

3月13日(日)に駅西口周辺道路及び富士見公園を会場として、町内のまちづくり団体である「のぎまちづくりネットワーク」が主催する第4回のぎの楽市「えんにち」が盛大に開催されました。

毎年恒例となった「仮装ウォーキング」では、100名を越える参加者がユニークな仮装で駅西口周辺の道路を練り歩きました。

メイン会場となった富士見公園では、多くの出店が並んだほか、町内外の有志団体等による様々なステージ発表も行われ、多くの来場者を楽しませていました。

防災功労者消防庁長官表彰と日本消防協会表彰を受賞

野木町消防団は3月6日(日)に防災功労者消防庁長官表彰、3月8日(火)に日本消防協会表彰を受賞しました。

防災功労者消防庁長官表彰は、平成27年9月関東・東北豪雨の際、団員が昼夜を問わず不眠不休で活動した功績が認められたものです。

また、日本消防協会表彰は、長年の活動が認められ、優良消防団として表彰旗が贈られました。

トピックス ～町の話題～

ご寄付をいただきました

友愛記念病院を運営する茨城県民生活協同組合様より、乳幼児用の体重計・テーブル・イスや防護服等、計150万円相当の物品をご寄付いただきました。これは、平成22年度から6年連続です。

3月22日(火)、友愛記念病院の加藤院長、奥村統括部長が来庁され、町長に目録が手渡されました。

町の事業等で有効に活用させていただきます。

定住自立圏の形成に関する協定を締結いたしました

4月7日(木)、野木町・小山市・下野市・結城市の「定住自立圏形成協定」合同調印式が行われました。

この協定は、互いに定住に必要な都市機能及び生活機能を確保しつつ、圏域全体の活性化を図ることで、住民が幸せを実感し、住みたい・住み続けたいと思える魅力ある定住自立圏を形成することを目的としています。

今後は、具体的事業を定める「小山地区定住自立圏共生ビジョン」の策定やビジョンに基づく事業の推進に連携・協力していくことになります。

シリーズ野木町のごみ処理

問 町民生活部生活環境課 ☎(57)4247

⑤1 皆さんは分別大丈夫ですか？

平成28年4月から南赤塚地区内の小山広域保健衛生組合南部清掃センターで、生ごみとプラ容器、剪定枝のリサイクルが本格的に開始されました。

しかし、残念なことですが、皆さんに分別していただいた生ごみのなかに、スプーンやビニール袋、水切りネットを始め台所から混入したと思われる異物(生ごみ以外のごみ)が混じっておりました。また、もっと驚いたことには、サンダルやセーターなどの異物も混じっていたとの指摘を受けております。

このような異物は効率よい作業を妨げるほか、設備を故障させ、南部清掃センターから臭いやハエなどの公害を発生させる原因にもなってしまいます。南部清掃センター周辺に住んでいる方たちにご迷惑をお掛けしないためにも、生ごみの収集用紙袋には生ごみ以外のものを絶対に入れないようお願いします。

また、今年4月から始まったプラ容器と剪定枝についてもより一層の分別をお願いします。

生ごみに混じっていた異物

○プラ容器

プラスチック製の容器や包装です。プラマークが付いているので簡単に見分けることができます。プラマークは中身を完全に使い切り、軽く洗って汚れを取り除いてから分別してください。出せる日や出せる場所は収集計画表をご覧ください。

プラマーク

○剪定枝

庭木などを剪定した木の枝です。太さ10㎝、長さ60㎝以下にして、麻ひもか紙ひもで束ねてください。出せる日や出せる場所は収集計画表をご覧ください。

第２回 野木町春まつり

野木町の新たな春の風物詩として、3月下旬から「バルーンフェスタ」、「野木町春まつり」が開催されました。

「さくらまつり」では、さまざまなイベントや模擬店が行われ、来場者を楽しませていました。また、「ささら獅子舞」や「春神楽」など迫力のある地域の伝統文化に触れることもできました。

４月１日から「とちぎ笑顔つぎつぎカード」の使用可能エリアが拡大しました！

○協賛店舗等において割引などの優待を受けられる「とちぎ笑顔つぎつぎカード」が、41 の道府県で使えるようになりました。

○県外での使用をご希望の方は、町こども教育課で全国共通ロゴマークのシールをお受け取りください。

※既にお持ちのカードにシールを貼ることで 41 道府県で使えるようになります。

○対象となるのは 18 歳未満のお子様（１名以上）を養育する世帯及び妊娠中の方がいる世帯です。まだカードをお持ちでない方は、町こども教育課までお越しください。その際、健康保険証や母子手帳など、対象者が確認できるものを提示していただく必要があります。

問　とちぎ未来クラブ　028(643)1006
　　町こども教育課　　(57)4138